

ベートーヴェン「第九」・私の聴き方

今年はベートーヴェン（1770/12/16～1827/3/26）生誕250年記念で盛大な行事が予定されていましたがCOVID-19禍で延期又は縮小されています。12月は東京への外出は自粛されていますが、いくつかの「第九」コンサートが聴ければ有難いです。

私が「第九」に関心をもったのは随分前のことですが、聴く音楽と日本語に訳された邦文が、余りにもかけ離れていて、自分の耳を疑いながら、長い間邦訳を見ないで聴くことにしていました。納得したいという欲求にかられて、自分の力の範囲で資料を集め、講習会に参加し、ついには、この2年間には「ベートーヴェンの生涯と作品」について、専門の先生の講習に参加しました。

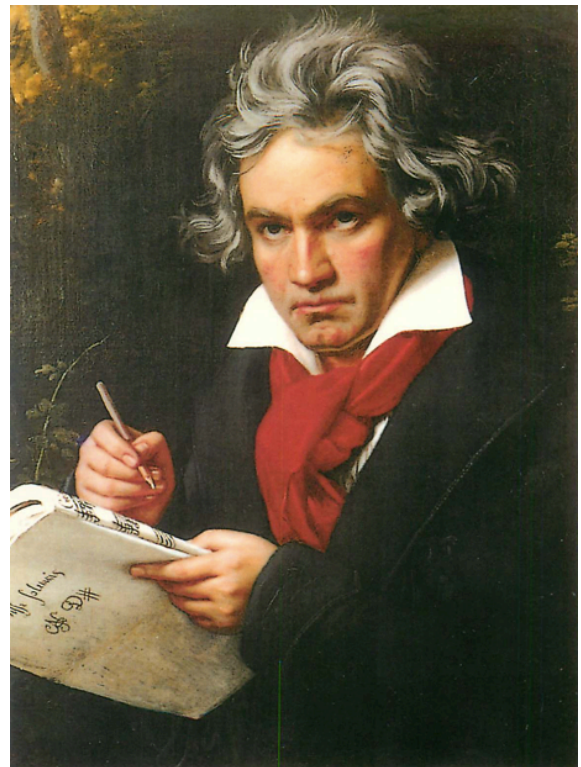
学べば学ぶほど掘るべき井戸が深くなり、自分の力の限界に達しておりましたところ

「第九が歌えなくなる日」というZOOMの研修を紹介され、心勇んで受講して、凄い解釈があり、そのような見解を、日本のトップ大学の教授が発表しているのかと、思われる内容にびっくりし、かつ強烈な勇気を与えられました。その有名教授はベートーヴェンは「近代市民社会の象徴」であり、「ベートーヴェンは脱宗教を第九で試みた」その証拠に「シラーの詩を引用している」「シラーの詩を選んだことで宗教から市民社会へ脱出を試みた」第九は「声を合わせて歌う自由平等博愛の共同体の理念のモデル」であるという内容でした。

第九の宗教性について、かなり学習していましたので、びっくりしました。そこで、この教授に勇気づけられ、私の「第九」の聴き方を記し残したいと考えました。他の方に迷惑がかかることを避けるために参考資料や教わった方々のお名前を一切記しません。多くの方のお教えに影響を受けておりますが、全体は私の独断です。

この邦訳で「第九」は始めから終わりまで一貫して聴くことが私には可能になりました。

ベストピアでは過去3回に渡り試論を発表してきましたが、その最終章を果敢に発表します。以下は「第九」第4楽章の歌詞の部分をほぼ全訳しました。全訳することで、繰り返しの多さ、



音階の強さ、弱さ、長さ、優しさ、荘厳さがオーケストラと一致して納得性が深まり、ベートーヴェンの言いたかった「奥深い歓喜」に少しは近づけるのではないかと考えます。

番号の付け方も私流であり、主観的なものです。多数説となっている通説を批判するものではありません。

芸術の持つ素晴らしさは、真善美の「美」の感じ方の多様性にあります。それぞれの考え方で後世に繋がれていくことが重要です。その中でも「真」にも追求がなされると深まります。

ベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」

第4楽章・全邦訳の試み

(1)ベートーベンの宣言

(バリトン・ソロ 208-236)

おお！友よ、これらの調べではない。もっと心地よい、
歓びに満ちた歌を歌おうではないか！

(2)最初の大合唱

(バリトン・ソロ 237-256)

歓喜、歓喜、歓喜、美しき神の輝き、楽園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。

あなたの不思議な力は、時代の波が残酷にも、
引き裂いたものを再び結び合わせます。
あなたの 慈しみふかい み翼の留まるどころ
全ての人間は、みな兄弟となる。

(全員合唱 257-264)

あなたの不思議な力は、時代の波が残酷にも、
引き裂いたものを再び結び合わせます。
あなたの 慈しみふかい み翼のとどまるところ、
全ての人間は、みな兄弟となる。

間奏4小節

(3)-①この世の喜び

(ソロ 269-284)

一人の友の友となることが出来た者、
心優しい妻を得た者、そのような大きな業に成功したものは喜べ！
そうだ、この世で、ただ一人だけでも（心を分かち合える）魂を得たものは喜べ
出来なかった者は、涙してこれらの群れに別れをつけよ。



(合唱全員 285-292)

そうだ、この世で、ただ一人だけでも（心を分かち合える）魂を得たものは喜べ
出来なかった者は、涙してこれらの群れに別れをつけよ

間奏4小節

(3)-②この世の喜び

(ソロ 297-312)

全ての存在は、自然の乳房から、歓喜を飲む
善人も、悪人も 全ての人はバラの道を辿る。
それは我々と子孫に、接吻（色々な愛）と
一人の死を経験した友を与えてくれた。
快樂は虫けら同様の私にも与えられた。
そして、天使が神の前に立って招いてくれている

ここでのkusse（男性複数）で邦訳
困難、
uns unt Reben
Reben葡萄の蔓を子孫と解釈した。

(合唱全員 313~330)

それは我々と子孫に、接吻（色々な愛）と
一人の死を経験した友を与えてくれた。
快樂は虫けら同様の私にも与えられた。
そして、天使が神の前に立って招いてくれている
そして、天使が神の前に立って招いてくれている。
神の前に (327-328)、神の前に(329-330)

「虫けら」はルターから
の影響と考える

オーケストラ・(331-374)

(3)-③この世の喜び

(ソロ 375-431)

喜々として、あたかも空の星々が壮麗な神の計画によって飛び交うように、
駆け巡れ、兄弟よ、君たちの道を、喜び一杯に。あたかも
英雄が勝利に向かって進むように。

(テナーと男性合唱 411-431)

駆け巡れ、兄弟よ、君たちは君たちの道を、喜び勇んで
英雄が勝利に向かって進むように
英雄が勝利に向かって進むように。

3小節無音

オーケストラ (435-542)

(4)第2回目の大合唱 (543-590)

歓喜、美しき神の輝き、楽園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。
あなたの不思議な力は、時代の波が残酷にも、

引き裂いたものを再び結び合わせます。
あなたの 慈しみふかい み翼のとどまるところ
全ての人間は、みな兄弟となる。

あなたの不思議な力は、時代の波が残酷にも、
引き裂いたものを再び結び合わせます。
あなたの 慈しみふかい み翼のとどまるところ
全ての人間は、みな兄弟となる。

間奏 4 小節

(5) 歓喜への招き

(テナーとバスの合唱 595-602)

(神の愛に) 抱かれて在れ、幾百万の人々よ、
(神の愛の) 接吻を全世界に。

ここでの接吻は単数

(合唱 全員 603-610)

(神の愛に) 抱かれて在れ、幾百万の人々よ、
(神の愛の) 接吻を全世界に。

(テナーとバスの合唱 611-618)

兄弟たちよ、あの青空の彼方に
必ずや愛しい父 (なる神) はおられるにちがいない

(全員の合唱 619-626))

兄弟たちよ、あの青空の彼方に
必ずや愛しい父 (なる神) はおられるにちがいない。

間奏 4 小節

(全員合唱 631-646)

ひざまずくか、幾百万の人々よ？
感じるか、創造主を、世界よ！
青空の彼方に、創造主を求めよ！
青空の彼方に、必ずや、愛しい父は住み給う。

間奏 4 小節

(全員合唱、少しずつづれて 651-655)

青空の彼方に、必ずや、創造主は住み給う。

(6) トッペルフーガ 合唱 (655-729)

「歓喜の歌」と「抱かれて在れ」の歌」二つの主題が同時に反復交代して歌われる。

Xg 歓喜、美しき神の輝き、樂園からの乙女

Yg 抱かれて在れ（神の愛に）幾百万の人々よ、
その愛を全世界に

Xg 歓喜、美しき神の輝き、樂園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。

Yg 抱かれて在れ（神の愛に）幾百万の人々よ、
その愛を全世界に

(役割の交代 679～729)

Xg 抱かれて在れ（神の愛に）幾百万の人々よ、
その愛を全世界に
その愛を全世界に、全世界に、全世界に、
歓喜、美しき神の輝き、我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。
抱かれて在れ（神の愛に） 抱かれて在れ（神の愛に）
幾百万の人々よ 幾百万の人々よ その愛を全世界に、全世界に

Yg 歓喜、美しき神の輝き、樂園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。聖なるみ国に
抱かれて在れ（神の愛に）、
幾百万の人々よ、 その愛を全世界に
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。
抱かれて在れ（神の愛に）、幾百万の人々よ、
歓喜、美しき神の輝き、樂園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります

(7)創造主の存在

(バリトンから始まる合唱 730-741)

ひざまずいているか、幾万の人々よ？（バスのみ合唱）
感しているか。創造主を、世界よ！（テナーのみ合唱）
創造主を求めよ、青空の彼方に（アルトのみ合唱）

(全員合唱742-762)

創造主を求めよ、青空の彼方に、兄弟よ、兄弟よ
青空の彼方に、愛しい父(なる神)はおられるに違いない、
愛しい父(なる神)は居られるに違いない。

間奏4小節

(8)歓喜の歌 ソリスト4重唱

歓喜、樂園からの乙女

(テナーとバス独唱767)



歓喜、楽園からの乙女 歓喜、楽園からの乙女 (ソプラノとアルト独唱769~)
歓喜、楽園からの乙女 (テナーとバス独唱774~)

あなたの不思議な力、あなたの不思議な力、は再び結びあわせます、
あなたの不思議な力、時代の波が残酷にも、引き裂いたものを、再び結びあわせます
あなたの不思議な力、あなたの不思議な力、時代が残酷にも、
引き裂いたものを再び結びあわせます。

(このパートはソロが微妙にずれて歌います782-801))
(795-803バックに合唱団合わせて歌う)

間奏 2 小節 オケのみ (804-805)

(合唱806-813)
全ての人間は、全ての人間は、全ての人間は兄弟となる、
あなたの慈しみ深いみ翼のとどまるところで。

間奏4小節(814-817)

(合唱818-824)
あなたの不思議な力は、 あなたの不思議な力は、
時代の波が残酷にも、引き裂いたものを結びつける

間奏 2 小節 (825-826)

(合唱827-832)
全ての人間は、全ての人間は、全ての人間は

(この合唱の途中830-842ソロ4重唱)
全ての人間は、全ての人間は、兄弟となる
あなたの慈しみ深いみ翼のとどまるところで。
あなたの慈しみ深いみ翼のとどまるところで。

(合唱855-863)
抱かれて生きよ (神の愛に) 幾百万の人々よ、
その愛を全世界に、全世界に、全世界に。

(合唱864-903)
兄弟たちよ、あの青空の彼方に
必ずや愛しい父 (なる神) は 愛しい父 (なる神) は、愛しい父 (なる神) 住み給う
抱かれて在れ (神の愛に) 抱かれて在れ (神の愛に)
その愛を全世界に、全世界に、全世界に
その愛を全世界に、全世界に、全世界に、全世界に、全世界に。

(合唱904-920完)

歓喜、歓喜、美しき神の輝き、美しき神の輝き、楽園からの乙女
歓喜、美しき神の輝き、美しき神の輝き。

(終曲921-940) オーケストラ

おわりに

ベートーベンが表現したかった「歓喜」とは「美しく輝く神に抱かれること」と解します。
その生涯のどこに喜びがあったかを探し出すのが難しいベートーベンの生涯です。病は難聴から失聴へ進み、失望こそが主題になる人生です。天地を揺るがすほどの極限の試練の中であらゆる存在の奥にひそむ歓喜を、絶妙の響きにのせた作品です。

「試練は人の心の底にある世俗的なものを打ち砕いて心を神聖にする」
偉大さは精神的な内容から来ています。聴きさえすれば、その感性があればすぐにわかることで、私のように言葉にこだわる必要はありません。
特に「歓喜の歌」のメロディーは難しくなく、身近な曲です。第1楽章から第3楽章の難しい調べにNoと言った訳ですが、万を期して出てきたのがこのメロディーであったことは安心感と安堵を感じます。「星空の彼方に創造主を求めよ。神はあなたの近くにいます」と解するとことも可能です。

私はこの自分の「79歳訳」でもって今年は第九を聴きたいと思います。

第九・私邦訳 コンサートのプログラム対比用

おお！友よ、これらの調べではない。もっと心地よい、
歓びに満ちた歌を歌おうではないか！

歓喜、歓喜、歓喜、美しき神の輝き、楽園からの乙女
我ら、心酔して、あなたの聖なるみ国に入ります。
あなたの不思議な力は、時代の波が残酷にも、
引き裂いたものを再び結び合わせます。
あなたの 慈しみふかい み翼の留まるところで、
全ての人間は、みな兄弟となる。

一人の友の友となることが出来た者、
心優しい妻を得た者、そのような大きな業に成功したものは喜べ！
そうだ、この世で、ただ一人だけでも（心を分かち合える）魂を得たものは喜べ
出来なかった者は、涙してこれらの群れに別れをつけよ。

全ての存在は、自然の乳房から、歓喜を飲む
善人も、悪人も 全ての人はバラの道を辿る。
それは我々と子孫に、接吻（色々な愛）と
一人の死を経験した友を与えてくれた。

快樂は虫けら同様の私にもにも与えられた。
そして、天使が神の前に立って招いてくれている

喜々として、あたかも空の星々が壮麗な神の計画によって飛び交うように、
駆け巡れ、兄弟よ、
君たちの道を、喜び一杯に。
あたかも英雄が勝利に向かって進むように

（神の愛に）抱かれて在れ、幾百万の人々よ、
（神の愛の）接吻を全世界に

兄弟たちよ、あの青空の彼方に
必ずや愛しい父は居られるにちがいない

ひざまずいているか、幾万の人々よ？（バスのみ合唱）
感じているか。創造主を、世界よ！（テナーのみ合唱）
創造主を求めよ、青空の彼方に（アルトのみ合唱）

創造主を求めよ、青の彼方に、兄弟よ、兄弟よ
青空の彼方に、愛しい父(なる神)は居られるに違いない、
愛しい父(なる神)は居られるに違いない。